

三船久藏 久藏 柔道家。明治十八年四月二十一日若年誕生、昭和四十年一月二十七日歿（八三—九五）。明治二十六年講道館入門、翌年初段、昭和二十年十段。別稱「空手投げ」を考案。六十年の柔道生活で試合は無敗、投げられたことすらないといふ傳説があり、〈柔道の神様〉と呼ばれた。二十六年文化功勞者。

著書「わが柔道の日」〈合著・栗本昭彌、昭和十八年八月〉、「十日東京講演會出版部」、〈柔道一途〉〈昭和二十五年十一月〉、「十日産業経済新聞社」、〈柔道教典 道と術〉〈普及版・昭和二十二年十月〉、「十日誠文堂新光社」等。

文献、(一)好京二著「琥珀の技―三船久藏物語」(昭和二十年十月十日「文藝春秋」)等。